

安心と笑顔のために

札幌市は、令和7年度（25年度）から、283施設300カ所以上の市有施設について、使用料・手数料を値上げする議案を第4回定例会に提案。日本共産党を除く会派の賛成で可決成立しました。値上げ幅は、原則、物価上昇の影響を受けたコストの増加分のみであると市は説明しますが、一律一斉の値上げは30年ぶりとなり平均11.5%の値上げ幅は、物価高騰で苦しむ庶民の家計をさらに直撃します。撤回を求めた論戦を紹介します。

市民利用の逆風——札幌ドーム使用料値上げがもたらすスポーツ環境の課題 12月09日 経済観光委員会 田中啓介市議



2024年12月9日に開催された経済観光委員会では、札幌ドームを含む体育施設の使用料を一律10%引き上げる議案について議論が行われ、田中啓介市議が質問に立ちました。

田中市議は、北海道コンサドーレ札幌はJ2リーグへの降格に伴い、配当金や観客数、スポンサー収入の減少が見込まれるなか、使用料値上げでさらに負担が増えることを指摘。さらに、アマチュア大会についても、使用料の9割減免が行われているものの、値上げによって主催者や団体の負担が増え、利用控えが生じると指摘し、今後のアマチュア大会の使用料減免についてはどう考えているのかと質問しました。市は、安定的な運営を維持するために値上げが必要であると答弁し、アマチュア利用についても条例上の減免制度を活用した主催者への適切な支援に取り組むと答弁。その後の、減免の拡充を打ち出していますが、コンサドーレについての減免は現状維持にとどめます。

最後に田中市議は、「公的施設として、市民が利用しやすい料金設定が求められる。アマチュアスポーツや地域交流の拠点として活用を進めるためにも、料金改定が市民利用の減少につながらないように配慮すべきだ」と述べ、質疑を締めくくりました。

市民に重い負担——老人福祉センター使用料25%値上げの是非を問う 12月09日 厚生委員会 さとう綾市議



2024年12月9日に開催された厚生委員会では、老人福祉センターの施設使用料値上げについて議論が行われ、さとう綾市議が質問に立ちました。

市有施設の利用料金が一斉に値上げされ、老人福祉センターの浴室使用料は25%の大幅な値上げとなります。市は利用者数への影響は限定的と見込んでいて、市民の生活実態や福祉施設の役割への配慮がされたとはいきません。

福祉施設が障害者や高齢者など利用者への配慮が特に求められる施設です。単にコスト上昇を反映するだけでなく、利用者の負担を考慮した対応が必要ではないかとの質問に西村剛部長は、利用者への影響は少ないとし、市民に負担を求める姿勢をくずしませんでした。

同センターは平成20年には無料だった浴室利用料が有料化され、利用数が平成30年度から令和5年度で56%減少したとの答弁を受けて、コスト上昇を理由に、週5から3日に減らしたことに對し、市民からは使いやすさを求める意見が多く寄せられました。さとう市議は利用する市民へのはアンケートも行われず、物価高騰で市民が苦しむ中、一斉に料金を引き上げることは見直すべきだと述べ、質疑を締めくくりました。

市民負担増で揺らぐ公共性——区民センター利用料11.5%値上げの妥当性は 12月09日財政市民委員会 吉岡弘子市議



吉岡市議は、物価高騰を受け、区民センターを含む市有施設の使用料を引き上げの提案を受け、

改定の考え方について質問。市は、施設の1平方メートル1時間当たりの単価を基に算出しており、国や他都市の類似施設との均衡や利用者負担割合を考慮していると答弁しました。区民センターについての基準額決定にあたり、吉岡市議は誰もが利用しやすい施設となるよう配慮した点については何かと質問。田口浩司地域振興部長は、公共性を考慮していると説明しましたが、吉岡市議は、区民センター条例が掲げる「地域住民のコミュニティ活動の助長」や「生涯学習の普及振興」を目的とした福祉増進の役割を強調し、誰もが利用しやすい環境を守るためにも、今回の値上げは見送るべきだと述べ、質疑を締めくくりました。

